

丈はチュニック丈とブラウス丈の2種類のラインがあります。

ラウンドのヨークに沿ってスモッキングを施した、凝ったデザインのブラウスです。

1枚できれいに決まり、コーディネートがしやすい素材を変えて普段着にもおでかけにも使えます。

アクセサリがなくても程よく華やかにしてくれるスモッキングは見た目ほど難しくなくおすすめです。

着丈は2種類（ブラウス丈とチュニック丈）のライン入り。

袖はフレンチ袖と五分丈の2種類があります。

寸法		着丈 (チュニック)	着丈 (ブラウス)	バスト (パターン上)	バスト (仕上がり)	チュニック け回し	五分袖丈
パターン上の寸法です。お使用の素材により仕上がり寸法が違います。	S	76.3cm	52.2cm	108cm	90cm~	128cm	32.5cm
	M	79.0cm	54.0cm	114cm	100cm~	136cm	34.0cm
	L	81.7cm	55.8cm	120cm	110cm~	143cm	35.5cm

●バスト（パターン）はスモッキング作業前の寸法です。（かなり広い状態）そのため、目安としてバスト（仕上がり）寸法を表示していますが、仕立てたサンプルを直接測った寸法になることと、スモッキングの加減により、この寸法も変動することがあります。ご注意ください。

素材選び

薄手の布帛素材が適しています。ローンなど。ガーゼなどよりは少し張りのある素材の方が刺繍が綺麗に整いやすいです。

材料

表地	チュニック丈 (生地巾110cm)	ブラウス丈 (生地巾110cm)
五分丈	2.5m	2.0m
フレンチ袖	2.2m	1.7m

その他、接着芯 0.2m  
スモッキング用に刺繍糸などが必要です。

裁断と準備

縫い代つきで3サイズ同じ用紙に重ねて描いてあります。最初に貼り合わせてからカットしてください。カットするラインを色つきのペンなどで印してからカットすると、間違えにくいです。身頃についている点は、スモッキング刺繍をする位置です。チャコペンなどで印を入れておきます。

フレンチ袖のみ使用。薄手の素材が良い。

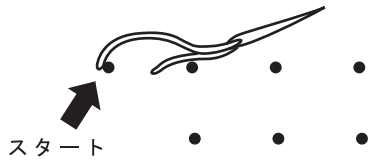


■ 接着芯を貼っておく

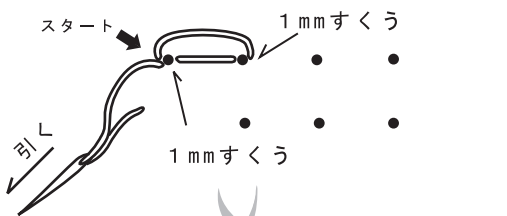
前見返し1枚 前ヨーク1枚 後見返し1枚 後ヨーク1枚

1 スモッキング

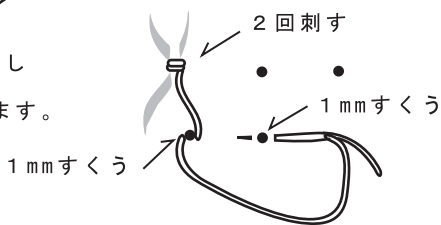
- ① 刺繍糸3本取りを目安に針に糸を通し、玉結び。  
スタート位置の裏側から表に針を出します。



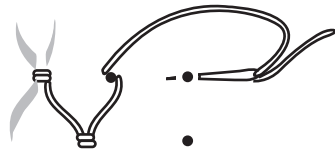
- ② すぐ右の印を1mmすくいます。そこからもう一度スタート位置で1mmすくい、糸を引きます。



- ③ 同じ所を2回通し  
下の印へ移ります。

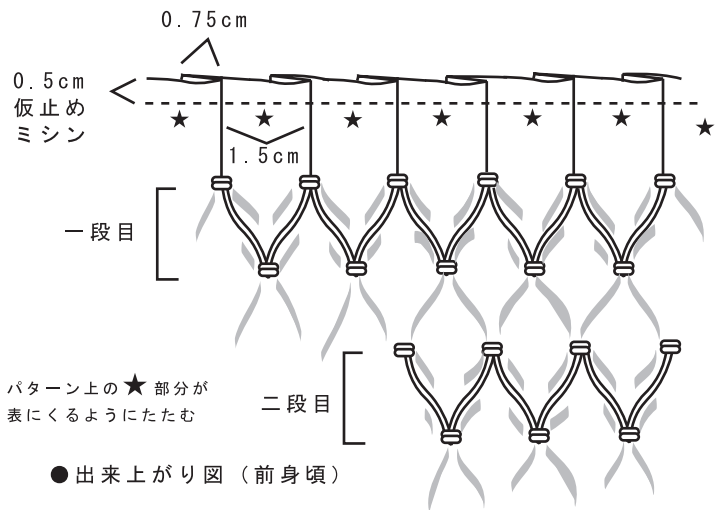


- ④ 下の段も2回通したら  
また上の段へ。  
これを繰り返します。



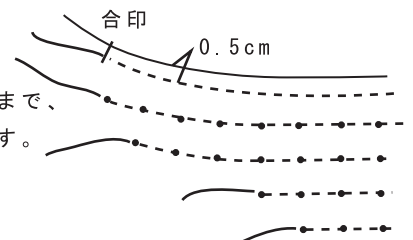
- ⑤ 横に渡る糸は糸を引きながら2回刺し、縦に渡る糸は糸を引っ張らないようにします。時々生地を上下方向に引っ張りながら、渡っている糸を整えます。  
2段目も同じように刺します。

上端は、1.5cm巾になるようにタックをたたみます。  
倒す方向は一方方向で、左右どちら方向でもOKです。  
たたんだら、端から0.5cmのところを仮止めミシン。

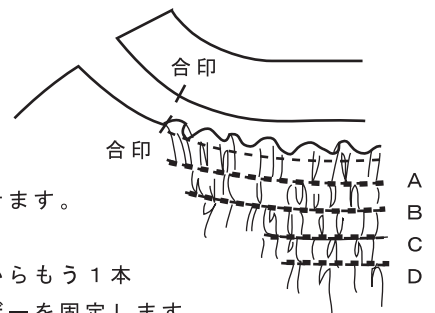


ギャザーアレンジの方法

スモッキングの  
左端の印から右端の印まで、  
ギャザーミシンをします。  
上から0.5cmのところ  
(縫い代の中)にも  
1本ギャザーミシンします。



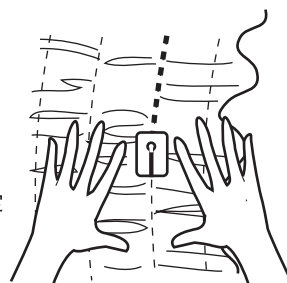
ヨークと身頃の  
距離が合う  
(合い印同士が合う)  
ようにギャザーを寄せます。  
指定寸法に縮めたら、  
ギャザーミシンの上からもう1本  
ステッチを入れギャザーを固定します。  
一番上の、縫い代内のギャザーミシンには、  
とめミシンは不要です。



- ギャザー上がり寸法は 前後身頃のギャザーを  
上からA B C Dとして以下の寸法を目安にしてください。

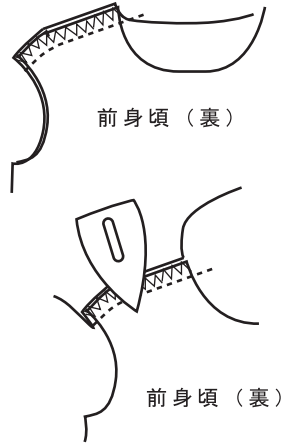
	後身頃	前身頃
A	11.0cm	21.0cm
B	9.5cm	19.5cm
C	7.5cm	15.0cm
D	6.0cm	14.0cm

ギャザーを横に  
押さえ広げて、  
寄せたギャザーが  
ずれないように固定  
しながら縫います。



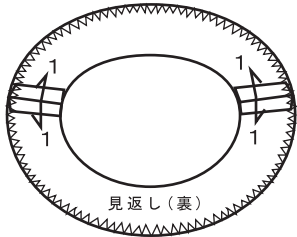
2 肩を縫い合わせます

前後の肩を、中表に合わせ、本縫い+ロック（ジグザグ）で縫い合わせます。縫い代は、後身頃側に倒しておきます。左右とも同じ処理になります。



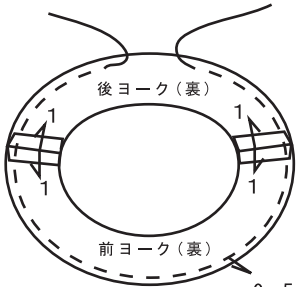
3 ヨーク作りと見返し始末

着た時に表にくる方がヨーク内側にくる方が見返しです。また、ヨークと見返しは大きさが少し違うので注意。



①見返し

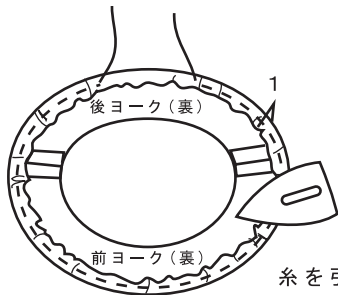
前後の肩を中表に合わせて縫い、縫い代を割ります。周りはロック始末します。



②ヨーク

前後の肩を中表に合わせて縫い、縫い代を割ります。後ろの直線部分は残し、縫い代0.5cmの所に粗ミシンをかけます。

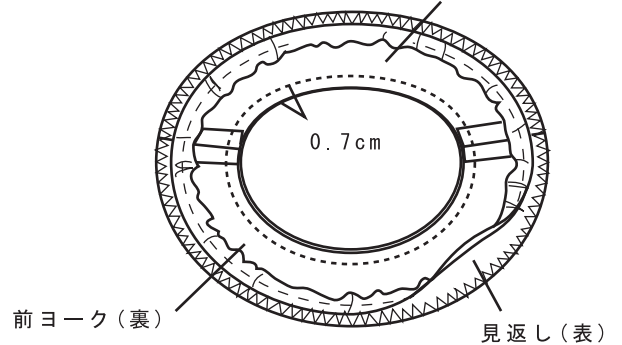
0.5cm



糸を引いて、出来上がりの形に整えます。

4 衿ぐり始末

後ヨーク(裏)

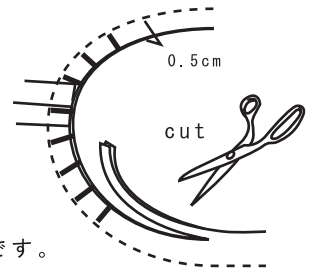


①ヨークと見返しの生地端を合わせ（衿ぐりの）出来上がり線を縫い代0.7cmで、中縫いします。

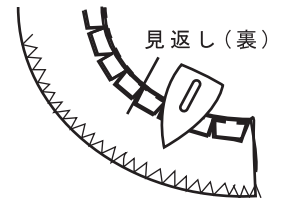
パターン操作してあるため、ヨークと見返しの衿ぐりの大きさは違ってきます。ピンで止めるなどして、タックにならないよう縫い合わせます。

②縫い代が0.5cm幅に

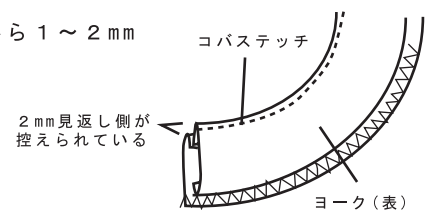
なるように、縫い代を切りそろえ縫い代に切り込みを入れます。ただし、カーブでない所は不要です。カーブの強い所は1cm間隔で切り込みます。



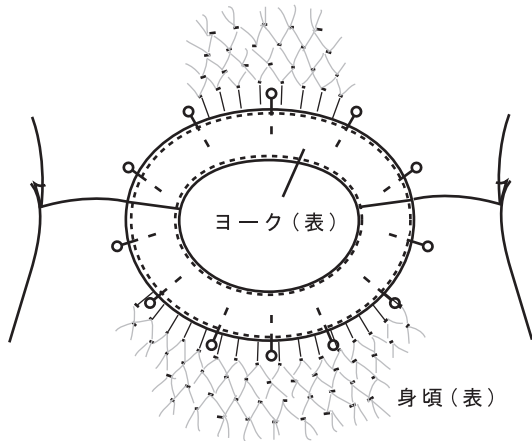
縫い代を見返し側に倒してアイロンをかけます。



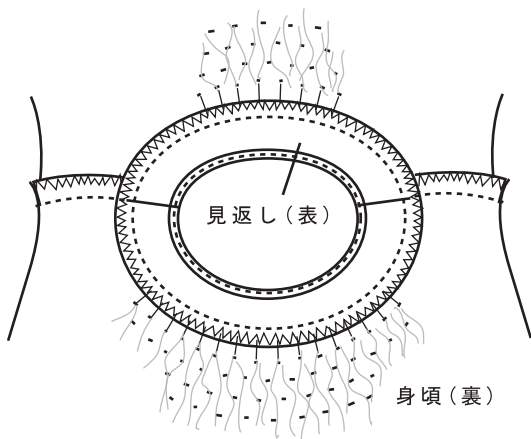
表に返して、見返しが2mm控えられるようアイロンで整え、ヨーク側からコバステッチ（端から1~2mmのところに入れるステッチ）で押さえます。



5 ヨークを身頃につける



- ①ヨークの端(折り山)を身頃の出来上がり線に置き  
ピンで止め、コバステッチでとめていきます。  
(見返しまで通してステッチします)

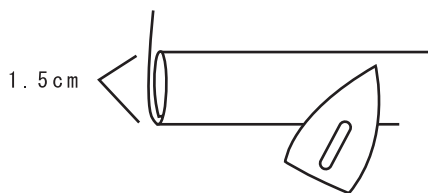


袖付け～仕上げ

五分袖の場合(フレンチ袖はP5)

6 袖付け

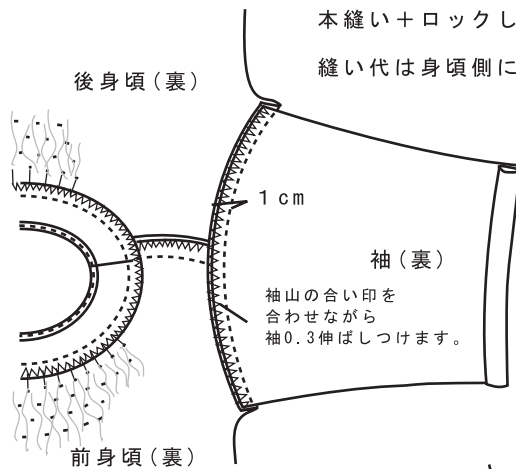
- ①最初に袖口を三つ折りしてアイロンをかけておきます。



袖(筒状)になってから袖口を三つ折りするのは  
難しいため、先に折り目をつけておきます。

- ②袖と身頃を中表に合わせて

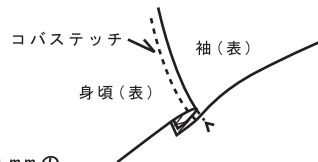
本縫い+ロックします。  
縫い代は身頃側に倒します。



袖山の合い印を  
合わせながら  
袖0.3伸ばしつけます。

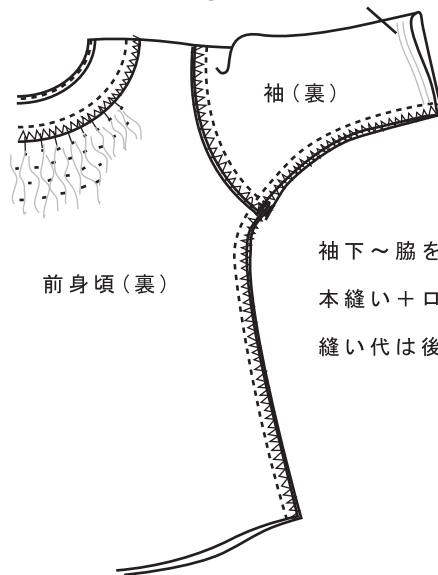
- ③袖山のラインに表から

コバステッチ(端から1~2mmの  
ところに入れるステッチ)を入れます。



7 袖下～脇縫い

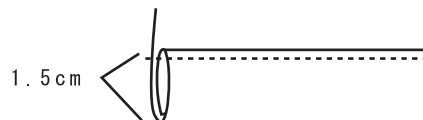
- 6の①で折った袖口の折り目を開いておく



袖下～脇を続けて縫います。  
本縫い+ロック始末。  
縫い代は後身頃側に倒します。

8 仕上げ

袖口と裾を1.5cmで2回折り、  
(完全三つ折り)ステッチ。



完成です。

